



联合国
粮食及
农业组织

FOOD AND
AGRICULTURE
ORGANIZATION
OF THE
UNITED NATIONS

ORGANISATION
DES NATIONS
UNIES POUR
L'ALIMENTATION
ET L'AGRICULTURE

ORGANIZACION
DE LAS NACIONES
UNIDAS PARA
LA AGRICULTURA
Y LA ALIMENTACION

منظمة
الغذية
والزراعة
للأمم
المتحدة

Liaison Office in Japan

5F Yokohama International Organizations Center, Pacifico-Yokohama,
1-1-1, Minato Mirai, Nishi-ku, Yokohama 220-0012, Japan

Tel. (045) 222-1101
Facsimile: (045) 222-1103
E-Mail Address: FAO-LOJA@FAO.ORG

F A O (国際連合食糧農業機関) 日本事務所
2010年10月4日

LOJAPR10/27-No. 176

プレスリリース

森林の生物多様性は危機に直面している

しかし保全の努力は進んでいる－F A Oが世界森林資源評価 2010 年を発表

2010年10月4日、ローマ - 世界の森林における生物多様性は、世界的に急速に進む森林減少及び森林劣化や原生林の減少により脅威にさらされている。しかし、多くの国では、保護地域の指定によって森林の生物多様性保全に向けた前向きな傾向が継続している。

これらは、世界の森林状況についてこれまで実施されたなかで最も総合的な評価であるF A O世界森林資源評価 2010年 (F R A2010) の最終報告の結論である。F R A2010の最終報告は4日、ローマで隔年開催されるF A O森林委員会及び世界森林週間の開催に合わせて発表された。

世界的には、2000年から2010年の間毎年約1,300万haの森林が(農地を含む)その他の用途に転用、または自然災害により消失した。報告書によれば、これは1990年代の毎年1,600万haに比べて減少である。

世界の森林の3分の1以上が、人間の手が目に見える形では加わっていない原生林に分類されている。原生林、特に熱帯湿森林には、世界の最も生物種が豊富で多様な生態系のいくつかが存在する。原生林は世界の森林面積の36% (14億ha) を占めるが、過去10年の間に年間0.4%、4,000万ha以上減少した。

F A Oによれば、これは、それらの森林が消失したことを意味するとは限らず、むしろ、多くの場合は報告期間に択伐やその他の人的介入がなされたため再分類されたからである。FAOは人的介入のなされた森林も、うまく管理されれば生物多様性において重要な価値を保持しつづけ、環境保全に貢献し、生計を維持すると強調した。

南アメリカでの原生林減少率が最も高く、アフリカとアジアがそれに続いている。

森林の生物多様性に対するその他の脅威としては、いくつかの国でそのすべてが深刻な被害の原因となっている持続的でない森林管理、気候変動、森林火災、病虫害及び疾病、自然災害及び侵入生物種が挙げられる。

保全及び管理の向上

F A Oの報告書によれば、同時に、生物多様性の保全のために指定される森林面積は 1990 年以降 9,500 万 ha 以上増加した。2000 年から 2005 年の間にその大部分（46%）が指定されている。今日、世界の森林の 12%（4 億 6,000 万 ha 以上）が基本的に生物多様性保全のために指定されている。

国立公園、動物保護区、自然保護区域などの法的に定められた保護地域は、ほぼすべての国や地域で全森林面積の 10%以上を占めている。これらの森林の主要な機能は、生物多様性の保全、土壌及び水資源の保護、あるいは文化遺産の保全であろう。

「世界の森林は、森林の生物多様性の活力源を表す。特にこれらの森林は、気候変動に適応しなければならないのみならず、緩和の役割を期待されていることから、この生物多様性は大切な財産である」、とエドゥアルド・ロハス F A O 局長は述べた。「森林の生物多様性をより良く保全・管理するために、持続可能な森林管理のためのさらなる投資が緊急に必要とされている。」

各国における森林管理計画及び実施に生物多様性保全を統合する傾向は加速している、と F A O は指摘した。しかし、特に森林伐採権のある生産林での効果的な保全及び生物多様性の持続可能な利用を向上するために行動をおこす必要があることは明白である。

「多くの熱帯地域、しばしば保護地域の、最も顕著には中央アフリカ森林における野生生物の過剰で持続的でない利用は重大な懸念である」と、ロハスは述べた。

絶滅の危機に瀕する野生生物

F R A 2 0 1 0 はまた、法律強化、共同体の参加、代替蛋白質源の提供、および簡単で現実的な野生生物監視システムの確立などを含む効果的な手段が早急に実施されない限り、都市部の消費者の需要によって動かされている商業的狩猟が多くの野生生物を近い将来絶滅させる可能性があるという警鐘を鳴らしている。

報告書は 2 3 3 の国と地域のデータから成り、7 つのテーマが網羅されている。森林資源量、生物多様性、森林の状態、生産的機能、森林の保護的機能及び社会経済的機能、森林管理と利用指針となる法的、政策的及び制度的枠組みである。178 カ国から 900 名以上の専門家が貢献し、4 年の歳月を費やして報告書は完成した。

英文 U R L : <http://www.fao.org/news/story/en/item/45904/icode/>